

令和6年度
第38回全国浄化槽技術研究集会

開催日：令和6年10月30日(水)・31日(木)

開催場所：「出島メッセ長崎」

主催 公益財団法人 日本環境整備教育センター

〒130-0024 東京都墨田区菊川2丁目23番3号

TEL 03-3635-4880 / FAX 03-3635-4886

URL <https://www.jeces.or.jp>

実施要綱

我が国の生活排水対策については、少子高齢、人口減少、財政規模の縮小などの社会情勢の変化により新たな対応が求められています。そのような状況の中、浄化槽は、効率的・経済的かつ地震などの災害にも強いという特長があり、社会的に高い評価を得ています。「地方創生」の観点からもますます重要な役割を果たすことが期待されています。

本研究集会は、浄化槽に関する技術の向上と適正な普及促進を図ることを目的に、昭和62年より「浄化槽の日（10月1日）」の関連行事として、毎年開催されています。

全国から浄化槽技術研究会会員、大学・研究機関の浄化槽研究者、浄化槽行政担当者、県・市町村の議会議員、浄化槽業界関係者が集い、浄化槽に関する研究発表・事例発表およびシンポジウムなどを通して最新の情報を提供し、意見交換することは、水環境の保全に寄与し、快適な生活環境を創造する一助として期待されています。

なお、研究発表会では、浄化槽技術に関する計画・設計、施工、保守点検、清掃など、日頃の体験、研究等についての発表をしていただき、発表された課題のうちから優秀と認められる課題に対し研究奨励金を贈呈することとしています。

開催日 令和6年10月30日(水)・31日(木)

開催場所 「出島メッセ長崎」 長崎県長崎市尾上町4-1

主催 公益財団法人日本環境整備教育センター

後援 環境省／国土交通省／農林水産省／長崎県／長崎市
「浄化槽の日」実行委員会／全国浄化槽推進市町村協議会

協賛 一般社団法人全国浄化槽団体連合会／全国環境整備事業協同組合連合会／
一般社団法人日本環境保全協会／全国一般廃棄物環境整備協同組合連合会／
一般社団法人全国浄化施設保守点検連合会／全国浄化槽団体連合会九州地区
協議会／九州地区浄化槽指定検査機関協議会／一般財団法人長崎県浄化槽協会

参加者 浄化槽技術研究会会員・行政機関・研究機関・指定検査機関・
業界関係者・報道関係者・市民・その他関係者

参加予定数 1,000名

参加費 無料（ただし、要旨集を希望する方は実費を頂きます。）

併催行事 第46回浄化槽行政担当者研究会

プログラム

■ 第38回全国浄化槽技術研究集会 10月30日(水)

1-I 式典 12:30 ~ 13:20

1. 主催者挨拶

公益財団法人日本環境整備教育センター 理事長 由田 秀人

2. 来賓挨拶

長崎県知事 大石 賢吾
長崎市長 鈴木 史朗
環境省 環境再生・資源循環局 次長 角 倉 一郎
国土交通省 審議官(不動産・建設経済) 堤 洋介
農林水産省 農村振興局 整備部長 緒 方 和之
一般財団法人長崎県浄化槽協会 理事長 佐藤 秀文

3. 浄化槽関係事業功労者 環境再生・資源循環局長表彰贈呈

4. 浄化槽研究奨励金贈呈

5. 公益財団法人日本環境整備教育センター 理事長感謝状贈呈

1-II 特別講演 13:30 ~ 14:20

「浄化槽の明るい未来が市町村の現場から見えてくる

～人口動向に適応した整備・維持運営体制の再構築～」

北海道大学大学院公共政策学研究センター研究員 遠藤 誠作

1-III 次回開催地挨拶 14:20 ~ 14:25

公益社団法人茨城県水質保全協会 理事長 成田 浩明

1-IV 閉式 14:25 ~ 14:30

1-V 研究発表 15:00 ~ 17:15

A会場

座長

研究発表1 (15:00~16:00) 4本

豊橋技術科学大学 名誉教授 木曾 祥秋

研究発表2 (16:15~17:15) 4本

文京学院大学 非常勤講師 伊与 亨

B会場

研究発表3 (15:00~16:15) 5本

国立研究開発法人国立環境研究所

上級主幹研究員 蛭江 美孝

1-VI 懇親会 18:00 ~ 20:00

研究発表会 1 15:00 ~ 16:00 座長：豊橋技術科学大学 名誉教授 木曾祥秋	
1-1	「ラインレーザーを用いた光投影法による浄化槽内スカム厚の計測」 公益社団法人岩手県浄化槽協会 岩手県浄化槽検査センター 稲村成昭
1-2	「処理水に残存する懸濁物質および溶解性有機物がLED紫外線消毒に及ぼす影響」 公益社団法人岩手県浄化槽協会 岩手県浄化槽検査センター 柿木明紘
1-3	「接触ばっ気槽における硝化反応の異常を検知するモデルに関する事例研究」 株式会社Noenum (ノックナム) 渡部龍一
1-4	「指定検査機関における生産性向上の取組事例と効果について」 一般財団法人福岡県浄化槽協会 与古光千夏子

研究発表会 2 16:15 ~ 17:15 座長：文京学院大学 非常勤講師 伊与亨	
2-1	「浄化槽由来のボウフラが水質に与える影響」 一般社団法人埼玉県環境検査研究協会 植木優斗
2-2	「小型浄化槽で週間タイマーを用いた間欠曝気運転による透視度改善」 有限会社フレヴァン 若林弘敏
2-3	「流達率を考慮した浄化槽と下水道の水質の比較」 公益財団法人鹿児島県環境保全協会 乾達哉
2-4	「熊本県の災害と浄化槽 被害と今後の備えについて」 公益社団法人熊本県浄化槽協会 崎村英明

研究発表会3 15:00 ~ 16:15	
座長：国立研究開発法人国立環境研究所 上級主幹研究員 蛭江美孝	
3-1	「簡易測定法の開発を伴う単独-合併転換によるマイクロプラスチック削減量の推定」 一般社団法人埼玉県環境検査研究協会 塩原拓実
3-2	「浄化槽処理水に起因する河川へのマイクロプラスチック負荷量の推定」 常葉大学 社会環境学部 山田建太
3-3	「浄化槽汚泥収集・運搬モデルの構築と濃縮車導入による事業費用節約効果」 国立大学法人東北大学大学院 KE RONGXIN
3-4	「小型浄化槽の構造および使用条件と清掃汚泥量の関係」 公益財団法人日本環境整備教育センター 濱中俊輔
3-5	「処理水を用いた野菜や果物の生産と安全性の検討」 秋田県立大学 名誉教授 尾崎保夫

併催 第46回浄化槽行政担当者研究会 プログラム(案)

■浄化槽行政担当者研究会

■浄化槽検査員研究会

合同プログラム 10月31日(木)

※午後のプログラムは、各研究会に分かれて実施します。

2-I 開会 9:00 ~ 9:20

公益財団法人日本環境整備教育センター 理事長 由田 秀人
環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物適正処理推進課 浄化槽推進室長 沼田 正樹
長崎県 県民生活環境部長 大安 哲也
長崎市 環境部長 立木 祝成

2-II 行政報告 9:30 ~ 11:40

1. 環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物適正処理推進課 浄化槽推進室
2. 環境省 水・大気環境局 水環境課
3. 国土交通省 水管理・国土保全局 下水道事業課 (上下水道審議官グループ)
4. 農林水産省 農村振興局 整備部 地域整備課
5. 総務省 自治財政局 準公営企業室
6. 内閣府 地方創生推進事務局

昼休憩

2-III パネルディスカッション 12:30 ~ 14:00

テーマ「浄化槽国際展開をさらに推進するために必要なこと」

司会：元埼玉大学大学院 教授 河村 清史

パネリスト：

1. 「浄化槽国際展開の取り組み」

環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物適正処理推進課
浄化槽推進室 環境専門調査員 ホワン ティー マイ

2. 「「アジア水環境改善モデル事業」における取り組み」

環境省 水・大気環境局 環境管理課
課長補佐 赤道 麻由

3. 「分散型汚水処理に関する国際動向」

国立研究開発法人国立環境研究所 資源循環領域
廃棄物処理処分技術研究室 上級主幹研究員 蛭江 美孝

4. 「海外における浄化槽の普及状況と課題」

公益財団法人日本環境整備教育センター
浄化槽システム国際協力センター 調査役 雲川 新 泌

5. 「浄化槽メーカーによる海外展開事例紹介1」

ダイキアクシスインディア
代表取締役社長 和座 良太

6. 「浄化槽メーカーによる海外展開事例紹介2」

フジクリーン工業株式会社
海外事業部長 田畑 洋輔

ディスカッション

浄化槽行政担当者研究会

2-IV 行政—情報 14:10 ~ 15:40

1. 「長崎県における浄化槽行政について」(仮題)
長崎県 県民生活環境部 水環境対策課 生活排水班
本 多 洋 幸
2. 「埼玉県における浄化槽台帳整備の取組」
埼玉県 環境部 水環境課 浄化槽・豊かな川づくり担当
技師 稲 原 信 也
3. 「美しい水環境を後世代に引き継ぐ為に」
一般社団法人大木町合併処理浄化槽維持管理協会
藤 原 俊 佐

2-V 閉会 15:40 ~ 15:45

浄化槽検査員研究会

2-VI 検査—情報 14:10 ~ 15:50

1. 「小型合併浄化槽清掃後における浄化機能の立ち上がりの検証について」
一般財団法人長崎県浄化槽協会 検査部検査課
課長補佐 柳 原 健
2. 「鹿児島県における特定既存単独処理浄化槽の判定と措置について」(仮題)
公益財団法人鹿児島県環境保全協会
検査部長 大 町 盛一郎
3. 浄化槽メーカーからの情報提供
 - (1) 「海外浄化槽設置の事例と各国規制・環境下における課題」
ダイキアクシスインディア
代表取締役社長 和 座 良 太
 - (2) 「ベトナムにおける浄化槽普及に向けた現状と課題」
株式会社カンスイ
代表取締役社長 本 多 幸 雄

2-VII 閉会 15:50 ~ 15:55